



金沢北ロータリークラブ

例会日：木曜日 12:30～13:30
 例会場：卯辰山・ホワイトハウス
 事務局：金沢市尾山町9-13・金沢商工会議所
 TEL <0762> 63-1151
 会長：越野 民男 幹事：浅田 豊久
 情報委員長：清水 忠

1976・3月18日

第61号

“国際柔道あれこれ”

柔道家 津沢 寿志氏



かつて柔道は、わが国古来のスポーツとして世界に誇るものであり、“ジュウドウニッポン”の名をほしいままにしていた。

ところが東京オリンピックのヘーシンク優勝以来、柔道熱は欧米諸国に燎原の火のように拡がり、今では120万の柔道人口を以て日本を脅かし、実力では日本をしのぐようにさえなった。

敢えて柔道に限らず、水泳や卓球・レスリングなど日本のお家芸が次々と敗退していくのは何故だろうか。

資質のあるスポーツマンが殆どプロ野球に吸収されるということや、スポーツマンの育ちにくい社会的土壌という背景もあろう。

しかし戦後の日本の若者は、体力において決して欧米の若者に劣らない筈である。条件は同じである。

とすれば、欧米の合理的トレーニングシステムの導入と、かつて日本人が持っていた精神力の鼓舞とに依って、スポーツ日本沈没の汚名をそぐことは決して夢ではない。

日本人の誰もが、それを強く願っている。

——金沢北RC例会卓話から——（文責 清水 忠）



卯辰山碑林散歩 (31)

——西村公鳳句碑——

玉兎ヶ丘に建つ西村公鳳の句碑には、“絞ぶや 雪百日の 傷桜。の句が刻まれている。

北国に住む人々の、雪に耐えながら生き続ける粘り強い姿、長い冬を乗り越えて春を迎える喜び、そして傷つきながらも絞びそめる桜木の生命の逞しき、そういった自然と人間とのかわりが、不思議な感動を以て歌いこめられている。

公鳳は明治28年松任に生れ、倉庫会社奉職する傍ら、“風。の同人として俳壇でも活躍している。

私の職業奉仕

庄田 厚郎

“わが庭に萩咲きにけり散らぬ間に、早来て見べしなうの里人” 万葉集より

日本で庭が住居の敷地の一部に形を持ちはじめたのは、7、8世紀の頃からとも、それ以前からともいわれております。

庭園は貴財を問わず、人々の憩いの場であり、名ある樹木花石が配してなくとも、四季の移ろいと雅びを愛でた情景が、前出の短歌にも詠みこまれています。これより早く、紫式部の記した「源氏物語」や「作庭記」に、池泉、遺水庭園の造成がくわしく記されています。これらは決して豪華絢爛を競うのではなく、溢れる自然、緑の中でなお深く、繊細で優美な心情を大切にし、幽玄、瀟



酒、侘びを愛した豊かな心のあらわれでもあったといえます。

私の仕事は、こうした個人的な趣味を生かして、自然との融和、語らい、四季を通しての心のゆとりを味わっていただく、庭園の設計、造成と、一方では、“緑” そのものの持つ、大気浄化、気候緩和、防災防火、景観保全、加えて公害、騒音緩和の役割も発揮出来るように配慮し都市生活の環境を豊かにする大きな面、「緑化」の名そのものの、二面を持っております。

とくに公共性の強い都市緑化の仕事は、今後幾

世代にも貢献し得るものと自負しております。

何世紀か前までは、人間も自然の一部として特別“緑”の過不足を意識することなしに家を造り道を拓き、火をおこし、木陰や野原でのびやかに暮らして来ました。緑は、雨嵐を避けるよすがであり、生活の資本として、恩恵やエネルギーを与えてくれました。しかし、拓くことに夢中になっている中に、いつの間にか資源としての緑も、心のうるおい、よりどころとしての緑も、破壊の極にいきついたといえます。北陸は、一人当りの緑の保有量が比較的多い方といわれますが、一地域の問題ではすまないのが現状です。

今、一企業が、街路に植える、団地に植える、公園に芝をはる、庭園を造る、それは牛歩にも似て、砂漠に水をまくようなものかもしれません。それでも、心をこめて選定した苗木や若木が根つき、春のきざしに芽吹くのをみたり、白日にさらされた道端に、僅かずつでも緑が増えて、憩う人の姿を見るとき、日々の瑣事も忘れて、秘かな喜びにひたります。植樹後の管理は、緑の下の仕事施肥、害虫駆除、枝の剪定と季節を追われます。

しかし、何もなかった空間にある日、ヒョロリとした苗木が植えられ、日を追うて確実に繁茂してゆく。これをきっかけに、生活環境の美化・改善、人と人との心の交流が強まり、積極的な都市緑化運動の推進に広がればとの希望を持ちながら、せっせと植えつつけることが、仕事を通しての私のささやかな奉仕と考えております。

私のロータリー手帖から (10)

I.C.G.F.の開花を願って

—全員協力！ホストの役割りを果そう—

柴田 三郎

I.C.G.F.は、Intercity General Forum (インターシティ・ゼネラル・フォーラム) の略称で、近隣都市のクラブのロータリアンのすべてが集って、国際ロータリーの役員 (ガバナー) または旧役員 (パストガバナー) などの指導のもとに開かれるもので、ロータリー教育の手段として、ロータリー全会員の参加が要請される地区における三大大行事の随一である。

その一つ地区協議会は年1回、新年度の直前、次期ガバナーが国際協議会で教育をうけて帰国の直後に開催され、次期のクラブ幹部の教育と、国際ロータリーの次期会長の運営指針の伝達、研修が目的であって、出席義務者は毎年異なるが各クラブから5～7名が普通である。昨年は桑名で、今年は山中で開催される。

もう一つの地区大会は、地区内の会員はもちろん、その家族をも含めて、地区外からの参加も歓迎されて行われるセレモニー (祭典) でもあり、親和の大グラウンド的要素が強いのである。

以上の如く、I.C.G.F.は全会員が一堂に会して、ロータリーを勉強する唯一のチャンスであり、目的と意義は最大である。しかるにI.C.G.F.は、新会員のためのものの如く受取られているのは誤りである。古くからの会員、いわゆるベテランロータリアンといえども、卒業のないロータリーには、飽くまで全員参加が建て前である。

こんどのI.C.G.F.に“全員登録”の方式がとられたのに対し、一部のクラブから異論が出たと聞く。「参加しない人が参加料を出すのはおかしい」と言うのも一応はもつともである。が、参加すべきところを、参加出来なければ、せめてもの協力に、ニコニコボックス式、ロータリアン的思いやりの襟度で行こうと諒解が成ったのは、ロータリーならこそである。

従来のI.C.G.F.が、“手続要覧”(ロータリーの憲法)の勉強が主体の傾向にあって、ロータリーの根幹、ロータリー精神の探求が忘却された感もあったが、近年各地区とも「ロータリーの原点を」指呼するに至ったのは当然である。こんどの当地区のテーマは「素晴らしきロータリー！……だけど現状は？」と、打ち出されているのはご存知の通りである。

而して、このフォーラム (討論) に加えて安積、渡辺両先生のご講演は、必ずや参加ロータリアンに多大な収穫を与えることであろう。

渡辺和子先生 (シスターセントジョン) は昭和11年の2・26事件当時の教育総監、渡辺錠太郎陸軍大将のご次女としても知られているが、先生には40年後の今なおこれに触れられるのはご傷心の至りであろう。先生の著書“美しき人に”は、PHP研究所の発行で、私は最近拝読、まさに人生読本として感銘を深めた。その一文に、キリストの言葉として、愛とは「自分にしてほしいと思うことを他人にすることだ」と、また、思いやりの発露として「他を先にする心」と訓えられ学んだが、ロータリーの心「Service above Self」と全く合致することを知るのである。この渡辺先生を動かしてくださったのは、四国松山RCの梶浦暉一さん (梶浦外科病院長・愛媛県分区代理) で、“おおロータリアン”が取りもつご縁であり、四国北条RCの宮本義男さん共々大変なお力になっていたお蔭である。

安積先生には、昨秋、金沢北RCの創立2周年記念講演を拝聴した。国際人、社会評論家、思索の人として高名。再度のご来光を得て喜びに堪えないが、最近1ヵ月余渡米、帰国されたばかり、新鮮な論陣が期待され渴望されて止まない。先生の詩集“一人のために”は、その後金沢北RCを始め市内各RCの人々に親しまれ愛読され、誰れもがこよなき座右の書と述懐されている。先生も金沢北RC出版の“おおロータリアン”のご縁である。まさしく「最も多く奉仕するものに、最も大きな恵み」がもたらされた所以であろうか。

管轄外の石川県第2分区及び隣県富山の各RCの有志に対し参加を勧奨しているのは、ロータリー一の喜びを広く分ちたい念願に他ならない。

第121回例会

◆ 3月4日(休)晴 ホワイトハウス 12:30~13:30



1. 講話
“国際柔道あれこれ”
津沢寿志氏
 2. 出欠
出席35名、欠席9名
出席率79.55%
 3. 来訪者
河北RC 釜田弘君
砺波南RC 齊藤隆君
金沢RC 坪野俊雄君
門田正君
石田吉三郎君、越馬純一君
加藤晃君、中村栄俊君
佐山好三君、岡本敏君
金沢東RC 平野知康君、山宮外雄君
石動隆信君
金沢西RC 進藤太一郎君
吉田茂平君、田川一明君
金沢南RC 成瀬栄蔵君、北川泰信君
4. 幹事報告 ○I.C.G.F.打合せ会
とき 本日例会終了後
ところ ホワイトハウス
○例会委員会
皆出席 顕彰 柴田三郎君 23ヵ年
○ガバナー月信配布。
5. 御誕生日祝 山上啓介君、大場勝雄君
本江他美夫君、長野幸雄君、小林隆二君
6. 御結婚記念日祝 小杉善二君、上次作君
小杉守男君、大場勝雄君、山田淳君
高田全君
7. ニコニコBOX 健康に恵まれて 柴田三郎君
8. 今日のニュース 札幌の北海道庁内エレベーター
で、時限爆弾爆発し、2名死亡、80名
重傷の大惨事となる。

第122回例会

◆ 3月11日(休)晴 ホワイトハウス 12:30~13:30



1. 講話
“今日のもうけ話”
金沢西RC会員
山本基宗君
 2. 出欠
出席33名、欠席11名
出席率75.00%
 3. 来訪者
小浜RC 逸見栄一君
志賀RC 上野邦夫君
雄谷助市郎君
金沢RC 山本清嗣君、齊藤隆三君
北川晶夫君、上田喬弘君
北元喜雄君、中川春三君
金沢東RC 大久保治君、更田康彦君
加藤義一郎君、福光博君
石動隆信君、東高照君
浅田裕久君
金沢西RC 山本基宗君、黒川存君
寺井利光君、角永豊治君
山県智正君、北川正信君
辻昭夫君
金沢南RC 沖野太作君、柿木英夫君
古作文衛君
4. 幹事報告 ○I.C.G.F打合せ会
とき 本日例会終了後
ところ ホワイトハウス
○第361地区国際青少年交換委員北川晶
夫君より交換学生受入れについて説明。
○若野麻雀部会長より第2回麻雀大会報
告。
5. 今日のニュース 兼六園に続き、千里浜渚ドライ
ブコースの7月8月有料化決定。赤字
に悩む石川県当局苦肉の策。

2月例会出席状況

(100%)皆出席21ヶ月

会員名	月日					2月	◎	月日					2月	◎
	2/5	2/12	2/19	2/26	2/5			2/12	2/19	2/26				
浅田 豊久	○	○	○	○	◎	◎	岡田 林太郎	○	○	○	○	◎	◎	
出島 敬識	○	○	M	○	◎	◎	大海 徳二	○	M	M	M	◎	◎	
東元 潔	M	M	○	○	◎	◎	大村 精二	○	○	○	○	◎	◎	
平尾 信明	○	○	○	M	◎	◎	桜井 健太郎	○	M	M	○	◎	◎	
本江 他美夫	○	○	○	○	◎	◎	柴田 三郎	○	○	M	○	◎	◎	
泉 武義	○	○	○	○	◎	◎	清水 忠	M	○	○	○	◎	◎	
上 次作	○	M	○	○	◎	◎	塩村 喜代次	M	M	○	○	◎	◎	
笠間 恒次	○	○	○	M	◎	◎	庄田 厚郎	○	○	M	○	◎	◎	
加藤 悦大	○	○	M	M	◎	◎	高田 全	○	○	○	○	◎	◎	
木田 忠男	M	M	M	○	◎	◎	俵 外代吉	○	○	○	○	◎	◎	
木島 光仁	○	○	○	M	◎	◎	土原 一二	○	○	○	○	◎	◎	
小林 隆二	○	○	○	○	◎	◎	釣見 栄一	○	○	○	○	◎	◎	
越野 民男	○	○	○	○	◎	◎	若野 三朗	○	○	○	○	◎	◎	
小杉 守男	M	M	○	○	◎	◎	山田 淳	○	○	○	○	◎	◎	
小杉 善二	○	○	○	○	◎	◎	山田 安隆	M	M	M	○	◎	◎	
松本 智	M	M	M	○	◎	◎	山上 啓介	M	M	○	M	◎	◎	
水野 博	○	M	○	○	◎	◎	山岸 与作	○	M	○	○	◎	◎	
宗田 市太郎	○	M	○	○	◎	◎	米沢 繁男	M	○	M	M	◎	◎	
長野 幸雄	○	○	○	○	◎	◎	米沢 修一	○	○	○	M	◎	◎	
中村 省三	○	○	○	○	◎	◎	吉田 昭炳	M	○	M	○	◎	◎	
大場 勝雄	○	○	○	○	◎	◎	由井 賢一	M	○	M	○	◎	◎	
岡部 三郎	○	M	○	○	◎	◎	吉山 宥海	○	M	○	M	◎	◎	